

たんぽぽ通信

Dandelions

2025. 3

始良市立加治木幼稚園便り
PHONE 62-2502
FAX 62-2524



きりん組さんいよいよ卒園

年長のきりん組の皆さんが、いよいよ卒園です。年少組の頃から、とても優しく、仲のいいクラスでした。年長組になってからは、責任感もぐっと増してきました。年少さんのお世話を進んで行ったり、困っている友達がいると、何とかしたいと声を掛けたり。自分のことだけではなく、周りのことも気に掛けながら、考えて行動することができるようになりました。

そういう年長組、3月に入って「お別れ」の行事や、卒園式の練習が続き、いろんな気持ちや感情がこみ上げてきている様子でした。

先日「ぐるんぱ」のお母さんたちが、きりん組さんの思い出をパネルシアターで表現してくださったときのことで。次々に出てくる思い出の写真を見ているうちに、懐かしい思い出が蘇ったのでしょうか、きりん組さんの感情がたくさん涙になって溢れ出ました。とても素敵な涙でした。年中・年少組さんもきっと何かを感じたことでしょう。

お別れ会で、年長組の一人一人から、年中年少さんにこれから頑張りたいことの発表がありました。みんな、年長組の皆さんへの感謝の思いを忘れず、頑張っていこうという気持ちを抱いたことと思います。

友達がいるからこそ

「自分のお子さんが小学生になるまでに、必ず身に付けてたいのは、どんな力ですか。」と聞かれたら…「あいさつ」「返事」…いろいろ浮かぶと思います。ですが、それらを大きく分けると、「自分自身の生活の自立に関すること」「友達や人のかかわりの自立に関すること」「考える力や表現する力など学びの自立に関すること」の3つに分けることができます。そしてそれらは、いろんな友達と関わる中で、友達がいるからこそ身に付けられることがとてもと思います。

例えば、幼稚園でも日常的に起こる喧嘩やものの奪い合い、仲間はずれ、いやなことを言われて泣く、自分の思いが伝えられなかったといった体験はとても大切です。辛い自分の気持ちを、誰にどういう方法で伝えればよいか、数々の経験を通して考え、行動します。頑張っ解決できたという経験を繰り返すことで、自分に自信をもてるとともに、周りの友達への思いやりの心や言動も身に付いていきます。友達と一緒に過ごすからこそできる数々の体験は、どれも大切な力を付けるための貴重なものです。友達がいるからこそできる体験を通して、これからもぐんぐん「根っここの力」を付けていってほしいと考えます。

【3月のキラリ 活動紹介】

～新しいサッカーボール～



PTAの皆さんが、子どもたちへサッカーボールをプレゼントしてくださいました。
みんなで、大切にに使わせていただきます。ありがとうございました。

～お遊戯室でお別れ給食～



きりん組さんの最後の給食の日、全員で集まってお別れ給食会をしました。

～お別れ遠足(千鳥公園)～



～柁城小学校4年生との交流～



柁城小学校の4年生の皆さんが、楽しい遊びのコーナーをたくさん準備して、年中・年長組を招いてくれました。1月には園に来て、園児と実際に交流し、どんなコーナーがよいか、考えてくれたそうです。みんなとても楽しそうでした。

年長組が、年中・年少組の友達を守るように自分が外側に立って手をつなぎ、千鳥公園まで歩きました。公園では、遊具で遊んだり、草スキーをしたりして思いっきり楽しみました。

たくさん遊んだ後の愛情たっぷりお弁当は、最高に美味しかったです。

年少組も往復完歩できました。

～お別れ会～



お別れ会では、年長組のかっこいいところと、年中・年少組にこれから頑張ってほしいことをお互い発表した後、みんなで遊びました。最後に年長組へ手作りのプレゼントを贈りました。

～園弁当会食～



～親子読書会「ぐるんぱ」の皆さんありがとうございました～



お別れ会の日の昼食は、園弁当でした。年長組が内側に円を作り、その周りをみんなで囲んでの楽しい会食でした。

「ぐるんぱ」さんは、毎月楽しい企画で読み聞かせ会をしてくださいました。3月の最後は、とても素敵なパネルシアターで、会場が大きな感動に包まれました。今年度も1年間ありがとうございました。